

行財政・一般

新市庁舎建設計画、候補地の選定について



● 岩永 慎太郎 議員

市の将来都市像をコンパクトな多核連携都市とし、その主要箇所を西大村地区、新大村駅周辺、大村中心地区としていることに相違ないか。また、行政の拠点、都市機能の中心の位置は何よりも重要であり、百年に一度の大事業である新市庁舎建設においては、後世の批判に耐えうる選定をすべきであり、市民の声を聞くべきだと思いがどうか。

答

市の将来都市像については、相違ない。また、新市庁舎建設への市民の声を聞く機会については、これまでの取り組みに加え、4月の早い時期に新市庁舎建設候補地に関する説明会を市内8地区で開催し、市民の意見を聞きたい。また、この3月議会において、市民の声を代弁する議員による議論が重要になると思っている。このようなことから、市民の声を聞くことについては、短期間ではあるが、十分な取り組みが進められているものと考えている。

市庁舎建設のプロセスは？



● 村崎 浩史 議員

3月定例会前に、市庁舎の建設候補地を、現在の大村市役所周辺と明言された。これは、最終的な市の方針であるのか。また、最終決定までに、市民に対して、どのように説明責任を果たすのか。また、最終決定は、5月上旬ごろになると思われるが、間違いないか。また、議会や市民の声を聞く中で、候補地が変わる可能性はあるのか。

答

市庁舎建設候補地に関して、4月に市内8地区で市民向け説明会を開催する予定で、具体的なスケジュールはほぼ決定している。また、建設場所の最終決定については、最短、最速で考えた場合、5月の臨時議会、もしくは6月議会になると考えている。また、建設場所を変更する可能性については、費用対効果など、市が示した案を上回るような対案が示されなければ、これで決定となる。

子どもたちに国際交流体験を！



● 村崎 浩史 議員

大村市はこれまで、他市に比べ積極的に国際交流活動に取り組んできた。園田市長も、中高生を対象とした国際交流活動事業をこれまでどおり継続することとにより、発展させる方向性であることに間違いはないか。また、この事業の原資である国際交流基金の財務状況はどうなっているのか。また、今後、基金の財務状況が厳しくなると思われるが、市長はどのように対応するのか。

答

国際交流については、これまでの取り組みを大きく評価しており、しっかりと継続していきたい。また、国際交流基金については、平成29年度末の残高は約4,600万円になると見込んでおり、今後の基金のあり方については、市の国際戦略の中で、しっかりと議論する必要があると考えている。



100年の大計で市庁舎建設地を検討すべき



● 水上 亨 議員

市庁舎建設候補地については、現市庁舎周辺を最終候補地として提案されているが、本市の人口・世帯総数の約6割を占める西大村・竹松・萱瀬地区の中北部地域に建設すべきだ。空港、新幹線駅、高速ICを縦軸とした都市機能を充実させ、また、新幹線を生かしたまちづくりを視野に入れた100年の大計に立つて、検討すべきである。

答

市庁舎建設候補地の選定に当たっては、人口密集地区の大村、西大村、竹松地区の民有地も含め、28力所を選定し、安全性、利便性、経済性のほか、早期実現性の視点を加え、選定に至ったものである。人口密集地区であることという視点は、選定要因のうちの1つでしかないと思っており、総合的な判断から現地周辺を選定したものである。

